



そっと開く本

千葉学習塾協同組合が設立30周年を迎えました。それを記念して千葉県の塾の指導経験豊富な先生たちの学習アドバイスを1冊の本にまとめました。その名も「なぜかボク・ワタシの成績が上がらないと思ったときにそっと開く本」というかなり長いタイトル。そっと開く本というあまり良いイメージではないかもしれませんが、中にはぎっしりと勉強のノウハウが100編以上詰まっています。もちろんアマゾンでも買えます。そのうちの理科と社会について1つずつ私も書いていますので、塾生のみなさんには1冊ずつプレゼントすることにしました。主に中学生を対象にした学習法ですが、これから中学生になるみなさんや、保護者の方にも参考になるページもたくさんあります。総合学習編から始まり、英語・数学・国語・理科・社会の各編についてそれぞれいろいろな切り口から書かれていますので、自分の気になったところから読み始めてかまいません。

さてその中で私の担当した「手を動かせば理科はわかる！」というページのことを簡単に紹介しておきましょう。例えば学校の実験などで実際に自分で準備して自分の目で見れば、話を聞いたり写真を見たりしただけでは味わえない臨場感があります。ここで手を動かした人とそうでない人との差が生じてしまいます。「実験は面倒だから班の他の人に全部お任せ」なんて決め込んでいる人ほど、「印象に残らない→覚えていない→原理もわからない→理科のテストで点数が取れない→やっぱり理科は苦手→実験も面倒」という悪循環に陥ってしまいます。その他にも、レンズによる光の屈折の作図を定規を使ってきちんと書けば理解しやすいことや、「グッド」の形に軽く握った右手の親指が磁界の向きを示すことなど「手を動かす利点」をいくつか挙げています。

結局、塾という場所で指導してきた経験というのは、塾生のみなさんの「苦手になっちゃった」「わからないままだ」という気持ちを共有してきたことです。そこを何とかしていこうというのが私たちの原点。だからこれからも一緒に前へ進んでいきましょう！